

誰一人取り残さない 安全安心なやさしいまちを目指して

Re Start

福祉課（内線222）

Vol.27 中学生保護司が活躍！

毎年7月は「社会を明るくする運動月間」。市では、7月4日に各中学校の代表が、土岐保護区保護司会から「一日中学生保護司」として委嘱され、保護司会のメンバーや市長などイオンモール土岐で街頭啓発を行いました。

買い物客に元気よく声掛けをしながら啓発グッズを手渡した中学生保護司は「緊張したけど、笑顔で受け取ってもらえてうれしかった。これから、もっと地域との関わりを増やしていきたい」と笑顔で話しました。

中学生が保護司として活動する姿を通して、地域での支え合いや、更生保護への理解が深まることを願っています。



人権感覚を高め お互いを認め合う 人権尊重のまちづくり

人権のまど

市民活動課（内線357）



正々堂々 自分らしく生きるために

7月26日、文化プラザで、人権・男女共同参画講演会「正々堂々 自分らしく生きるために」を開催しました。講師は、僧侶であり、国際的に活躍するメイクアップアーティストの西村宏堂さん。西村さんは、自己肯定感を高めるための考え方や、他者への理解を深めるための考え方を話し、正しい「自分らしさ」の見つけ方を提案しました。

参加者からは、「もっと自分らしさに目を向けて、幸せでいることが大切だと感じた」「押しつけがない話で、人と自分に優しさを持つ大切さを学んだ」などの感想が寄せられました。

人は、誰もが違う才能や得意なことを持っています。決められた基準だけで自分や他者を評価してしまうと、その人だけが持つ「本当の力」を見失ってしまうこともあります。私たちが大切にすべきなのは、誰かと比べるのではなく、それぞれが持つ個性や違いに目を向け、自分自身を肯定しながら自分らしく生きること。

今回の講演会が、その一歩を踏み出すきっかけになればうれしいです。

土岐商写真部×広報とき 土岐の写真撮影隊 Vol.28 「残暑のこりすぎ」

夏の暑さがまだ残っているこの頃。皆さま、いかがお過ごしでしょうか。

実家に帰省した人や、家族と時間をともにした人もいるかと思います。

この写真はサトイモの葉っぱです。雨が少なく、強い日差しでおれています。まだまだ暑さが続くと思いますが、健康に気を付けて過ごしていきましょう。

撮影班 二年 長江湧樹・有賀亮太

